

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	「第九」アジア初演ブランド化推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	開始	平成 26年度
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと	事業期間	終期	未定
(小項目)		0			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進			
基本事業	2	文化芸術活動の拠点施設等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内一円						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	1918年6月1日、板東俘虜収容所において、ドイツ兵捕虜がアジアで初めて「第九」交響曲を演奏したことを記念し、昭和57年から市民による「第九」の演奏会が続けられている。今後、国内外に誇る「なんと第九」のブランド力をさらに高め、市内外へ周知・啓発を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		「第九」演奏会来場者数	1,300	1,300	1350	1350	1350	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第32回「第九」演奏会と翌日に大塚国際美術館のシスティーナホールで「ミュージアムコンサート」を開催した。重点雇用分野創出事業を活用し、「第九」次世代育成・初演ブランド化推進事業をNPO法人鳴門「第九」を歌う会に委託し、選定された幼・小・中学校を対象に、「第九」合唱の指導及び「第九」アジア初演の歴史等を指導した。 産学官民協働のもとに、「第九」アジア初演を基盤とする「なんと第九」を構築・推進するため、アジア初演「なんと第九」ブランド化プロジェクト推進協議会を設立した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「第九」演奏会 中高校生の出演者	26	17	20	23	23	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		「第九」演奏会来場者数	1300	1350	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	1,800	7,112	4,220	4,220	4,220	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	5,312	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,800	1,800	4,220	4,220		4,220
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		6,517	16,293	16,293	16,293	16,293	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	2.5	2.5	2.5	2.5		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,317	23,405	20,513	20,513	20,513	千円	

【事務事業名：「第九」アジア初演ブランド化推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	第33回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会、大塚国際美術館で「第4回美術館でなるとの第九」開催。アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会を設立し、基本計画及び実施の策定に向けて、4部門の専門部会において関係団体との協議を重ねている。「なると第九」ブランド化推進基金を設置し、4月1日よりウェブサイトにて「なると第九」ブランド化推進基金への寄付サイトを掲載中。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策「暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進協議会で様々な提案を受け、基本計画及び実施計画の策定に向けて協議を重ねている。 今後は、策定期間については進捗状況に応じて柔軟に対応し、計画の策定を待たずしてできるものは実施し、特に市として取り組むべき内容については予算立ても含め庁内での調査・検討を順次行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトを実施中であり、庁内はもとより、学校や民間事業者等と幅広く協働し、計画策定及び計画の実施を行っていく。			